

皆様こんにちは。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和2年第4回江田島市議会を開会するに当たりまして、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただき、深く感謝いたしております。

また、市民の皆様には、臨時会の傍聴にお越しをいただき、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

この度の令和2年7月豪雨災害では、九州をはじめ全国各地で、多くの方々が犠牲に遭われました。亡くなられた皆様に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

そして、被害に遭われた皆様方が、少しでも早く元の生活を取り戻し、復旧・復興が進みますよう、お祈りを申し上げます。

昨日、8月6日は、私たち広島県に生まれ育った人間にとって、忘れてはならない慰霊の日、平和への誓いの日でした。私は、原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に江田島市民を代表して今年も臨席をさせていただきました。

被爆75年という節目の年、新型コロナウイルスの感染者の大幅増加の恐れがある中、ソーシャルディスタンスを確保する等の感染拡大防止対策を十分に行いつつ、参列規模を例年の1割に縮小した上で挙行されたものでございました。

広島市長の「平和宣言」や、こども代表の「平和への誓い」に、今を生きる私たちが、慰霊の営みを、平和への祈りを絶やしたくないという思いに連帯をし、世界に発信し続けることの意義をしっかりと胸に刻ませていただきました。

本市におきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「新しい生活様式」への移行に伴い、市民の皆様には心痛む制約をお願いすることとなっております。

8月に予定をしておりました「市戦没者追悼式」を始め、「原爆被害者の会慰霊祭」や、「大淀戦没者追悼式」などの大切な慰霊の行事も残念ながら中止となりました。

地域の皆様の交流を育む伝統行事であります「切串おかげんさんまつり」や、「大古夏祭り」も感染拡大防止のために中止を余儀なくされたと伺っております。

そうした中で、新型コロナウイルス禍の中にあって、市民の皆様の日常生活を取り戻すための取組や本市を訪れていただく皆様への取組にも、少しずつ進展がございます。

緊急事態宣言により休止をされておりましたが、市民の皆様による集いの場「いきいき百歳体操」は、現在、69箇所、1,055人の皆様が、また、「ふれあいサロン」では、60箇所、900人の皆様が「新しい生活様式」での健康づくりや交流活動に取り組んでおられます。創意工夫を重ねながら、活動を継続される皆様やこれを支える方々の真摯な取り組みに、敬意を表するものでございます。

また、このような地域での絆を結ぶ取組を支援するための拠点として、6月の新しい「鹿川交流プラザ」の運営開始に続き、本日は、「三高交流プラザ」及び「三高港旅客ターミナル」の完成式が行われました。

愛称を「みたかゲートハウス」として、国からも、全国143番目の「みなとオアシス」として認定をしていただきました。旅客ターミナルは、明日、8月8日から、交流プラザは、8月11日から、供用を開始いたします。両施設を一体的に活用することで、来訪者と地域の皆様の交流が生まれ、「交流と協働で創り出す『恵み多き島』えたじま」の新たな賑わいの拠点となる施設として大いに期待をするものでございます。

私は、常々、職員に対して、「私たちの使命は、市民の皆様の福祉の向上を図ること。それは、即ち、市民の皆様の喜びを増やし、悲しみを減ずることである」と繰り返し、繰り返し、伝え続けております。

市民の皆様の日々の暮らしの喜び、小さな幸せの積み重ねが、ある意味、より良い江田島市、ワクワクできる江田島市の実現につながるものと信じております。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組は、今後も予断を許しません。長期化も予測されております。これからは、台風シーズンを迎え、市民の皆様の安心・安全な生活を守る取組は、細心の注意が必要となってまいります。引き続き、市民の皆様の生活に寄り添い、求められる施策の実現に尽力してまいります。

議員各位の一層の御支援と御協力をお願いいたします。

さて、今議会では、新型コロナウイルス感染症対策のための環境整備や、市民の皆様、事業者の皆様への支援策に関する補正予算につきまして御審議をお願いすることといたしております。

何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

6月開会の定例会以後の市政の主な事柄（ことがら）につきましては、市政報告書のとおりでございます。よろしくお願いいたします。

以上で、報告を終わらせていただきます。